

記載例2 (退職等) 普通徴収...納税者が未徴収税額を直接納める場合

◎異動のあった月の翌月の10日までに提出してください。

市提出用 宛先 知立市長 ○○年9月2日提出		4 年度課税用 (給与支払報告 特別徴収) に係る給与所得者異動届出書		特別徴収義務者 指定番号 50000000	
		「特別徴収」を <input type="checkbox"/> 印で囲む		部 署 経理課 給与係	
〒 446-8501 ○○市××町18番		名称又は氏名 (株) 西三河		連 絡 先 担 当 者 知立 花子	
法人番号又は個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4		電話 0566-83-1111			
給与所得者(異動者) フリガナ 三河 サブロウ 氏 名 三河 三郎 生年月日 H2.8.20 旧姓 岡崎 受給者番号 001-0022 個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 異動後の住所(現住所) 知立市広見3丁目1番地 電 話 090 - 1234 - 5678		特別徴収税額 (年税額) 給与と天引きの 済済を記入 (ア) 120,000 円 (イ) 30,000 円 (ウ) = (ア)-(イ) 90,000 円		徴収済税額 6 月分 8 月分まで 未徴収税額 9 月分 5 月分まで 異動年月日 ○○年 8 月 31 日 異動事由 ① 退職 ② 転勤 ③ 休職 ④ 長期欠勤 ⑤ 死亡 ⑥ 税額が給与より大きい ⑦ 給与の支払が不定期 ⑧ 会社解散 退職した年の1月1日から退職時までの給与支払額 2,000,000 円 控除社会保険料額 100,000 円	

未徴収税額(ウ)の徴収方法を A B C から選択し該当記号を○印で囲み、必要事項を記入してください。

A 転勤・特別徴収継続 転勤等により年度途中で特別徴収義務者が変更になる場合

新特別徴収義務者
 所在地又は住所
 〒
 フリガナ
 名称又は氏名
 法人番号
 連絡先 部 署 担当者
 電 話
 月割額: [] 円を [] 月分から納入します。
 ([] 月 [] 日納期分)
 新特別徴収義務者指定番号
 新受給者番号
 特別徴収税額の納入方法
 (該当する納入方法にシをつけてください)
 納入書使用
 納入書不使用

B 一括徴収 退職時に未徴収税額を給与又は退職手当等から一度に徴収する場合

一括徴収した税額は [] 月分とあわせて納入します。
 [] 月 [] 日
 一括徴収の理由
 1 異動が12月31日以前で、申出があったため
 2 異動が12月31日以後で、特別徴収継続の希望がないため
 (○印で囲んでください)
 一括徴収税額 ((ウ)の金額)
 異動者の申出
 有 ・ 無
 ●1月1日から4月30日までに退職等される方については、一括徴収が義務づけられています。6月1日から12月31日までに退職等される方について一括徴収する場合は、異動者の申出を確認してください。

C 普通徴収 未徴収税額を個人で納付する場合

一括徴収しない場合は、次のいずれかを○印で囲んでください。
 ① 異動が12月31日以前で、一括徴収の申出がないため
 ② 5月31日までに支払うべき給与又は退職手当の額が未徴収税額以下のため
 ③ 死亡による退職のため
 市処理欄